

	<h2 style="color: red;">バチカン市国</h2> <p style="color: blue;">State of the City of Vatican</p> <p>2007年11月現在</p>
---	--



(注) 法王を国家元首とする独立国家たるバチカン市国と、法王を首長として世界のカトリック教会を支配する法王聖座の聖俗両面の総称がバチカンとされている。

一般事情

- 1.人口 802人(2007年11月)
- 2.面積 0.44平方キロメートル(日本の皇居は1.15平方キロメートル)
この他、市国外の伊領土内に治外法権を有する施設あり。
- 3.言語 公用語はラテン語。
また、一般に外交用語はフランス語、業務用語はイタリア語。
- 4.元首 ローマ法王(立法、行政、司法の全権を行使)
- 5.宗教 キリスト教(カトリック)
- 6.政治機関 バチカン市国委員会が統括し、市国政庁が執行。
- 8.通貨 ユーロ
為替レート 1ユーロ = 約166円(2007年11月現在)
補助通貨単位 100セント = CENT/S

- 9.査証(ビザ)
- 10.在留邦人数 3名(2006年9月)
- 11.在日当該国人数 -
- 12.電源 220V 50Hz
- 13.国際電話 国番号 39 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)
税率 - %
製造数量 - (百万本/年)
シガレットメーカー

コンセント・タイプ



15.略史

年月	略史
64年頃	ネロ皇帝の迫害のため殉教したキリストの使徒ペテロが、バチカンの丘に葬られる。
349年	ペテロの墓の上に、聖ピエトロ聖堂建設。
756年	カロリング朝ピピンが、ラヴェンナ等の都市をローマ法王に寄進。 (法王領の始まり)
1870年	イタリア軍、法王領に侵入(「ローマ問題」)。
1929年	イタリアとローマ法王庁との間でラテラノ条約締結 (イタリアは、バチカン市国を独立した主権国家として承認)

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館
ローマ法王庁大使館
Apostolic Nunciature in Japan
〒102-0075 千代田区三番町9-2
電話: 03-3263-6851

法王聖座(Holy See)

- 1.定義 ローマ法王及びローマ法王庁(政府に相当)を総称した概念。
約10億6千万人とも言われる信者を擁するカトリック教会の最高機関。
- 2.首長 ローマ法王(第265代法王ベネディクトゥス16世、2005年4月24日即位)。ドイツ出身。
- 3.議会 司教会議が議事に準ずる(世界中の司教の代表の集まり)。
- 4.政府 法王の公務執行中央機関であるローマ法王庁(Curia Romana)が政府に相当する。
その最高機関は國務省で、内務省に相当する総務部と外務省に相当する外務部が設置されている。
この他に9聖省及び12評議会等が設置されている。
(1)首相名 タルチジオ・ベルトーネ國務長官
(2)外相名 ドミニク・マンベルティ外務担当長官

外交・防衛

1.外交基本方針

- (1)軍事力、経済力を全く持たないバチカンの外交目標は、キリスト教精神を基調とする正義に基づく世界平和の確立、人心道義の昂揚にある。
そのための武力紛争の回避、人種的差別の廃止と人権の確立、発展途上国に対する精神的・物質的援助等、もっぱら人道的立場による平和提唱がバチカン外交の特色である。
- (2)現在178カ国と外交関係を有する。特に、1989~1991年にかけて東欧諸国と相次いで外交関係を開設又は再開し、1994年6月、イスラエルとも歴史的な外交関係樹立を達成した。
- (3)キリスト教各派の一致促進(エキュメニズム)運動を推進するとともに、世界諸宗教対話会合を1986年より開催。
- (4)欧州安全保障協力機構(OSCE)、万国郵便連合(UPU)、国際電気通信連合(ITU)等に加盟し、国連等に常駐オブザーバーを派遣している。

2.軍事力 軍は存在せず、スイス衛兵が法王身边と法王室を、市国警察がその他の警備に当たる。

経済

1.通貨

ユーロ

2.経済概況

主としてイタリアを始めとするEU諸国からの輸入に依存。
財政は、法王聖座予算は恒常的な赤字であったが1993年以降黒字を計上。
市国予算は黒字を計上。

二国間関係

1.歴史

1549年 フランシスコ・ザビエル、鹿児島に上陸。
1585年 九州のキリシタン大名が派遣した少年使節が法王に拝謁。
1615年 伊達政宗が派遣した支倉常長が法王に拝謁。
1942年 日本とバチカン、外交関係樹立(終戦後一時途絶)
1952年 日本とバチカン、外交関係再開。

2.日本におけるカトリック信者数

約51万人(枢機卿2名を含む大司教3名、司教26名)

3.要人往来

(1)往

年月	要人名
1953年	皇太子殿下(当時)
1965年	常陸宮同妃殿下
1984年	浩宮殿下(当時)
1993年	天皇皇后両陛下、法王と御会見
2005年	川口、武藤各特派大使

(2)来

年月	要人名
1981年	ローマ法王
1989年	オッディ枢機卿(大喪の礼)
1990年	カプリオ枢機卿(即位の礼)

4.在留邦人数

3名(2006年9月)